童里居夢（ドリーム） ログスタイルキャビン　ＮＤＨ－１０　取扱説明書　2008.05　Vol. 3

このたびは、童里居夢シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書を最後までお読みの上、正しい使い方で末永くご愛用ください。
なお、この説明書はいつでもご覧いただけるよう大切に保管して下さい。

【使用上の注意】

＊設置後は屋根にぶら下がったり、壁にもたれかかったりは絶対にしないで下さい。
（一定の強度はありますが、材料が木のため、鉄のような強度はありません。）
＊外壁に物等を立掛けないでください、破損・腐食の原因になります。
＊台風・地震などの災害の際、扉が開いていると転倒する恐れがありますのでアンカー
工事は必ず固定しドアは施錠して下さい。
＊扉の開閉時に、手や足を挟まないよう、ご注意下さい。
＊使用しない時は必ず窓・ドア共に施錠をお願いします。
＊住居としての使用は止めて下さい。
＊平坦な場所でご使用下さい。

【組立上の注意】

＊組立時は、安全のため手袋を着用して下さい。
＊風の強い日や雨の日は組立を避けて下さい。
＊組立を行う時は、必ず２人以上で行って下さい。
＊組立途中で放置しないで下さい。
＊30kg 以上の梱包の運搬は２人以上で行って下さい。
＊脚立や梯子を使用して、屋根に登って作業する場合
転倒・転落しないよう十分注意して下さい。

【設置場所について】

＊水平で凸凹のない場所をお選び下さい。

※建具に不具合が生じますので、設置場所は必ず水平にして下さい。

メンテナンスについて

＊この商品は工場出荷時に、オイルステン塗装をしておりますが、長雨が続いたり積雪等の長時間
湿った状態が続きますとカビが発生しやすくなりますので、１年に１度くらいは塗り替えが必要です。
野外用オイルステン系（キシラデコール等）は浸透性が高く、木材の通気性を保ち古くなっても
塗装のひび割れを防ぎます。　　*※塗膜をつくるニス、ペンキによる塗装は、絶対にさけて下さい*

【木に対する知識】

＊品質管理には万全を期しておりますが、材料の性質上、自然の条件下では退色がすすみ
反りや割れが生じ、ログ材が伸縮し、ドアや窓などが、開閉しづらくなる場合があります。
また、同じ材でも、色の薄い・濃いものもありますが、ご了承ください。
＊末永くお使い頂くために小まめなメンテナンスをお勧めします。

イメージ画像

輸入元　　株式会社ショーワ

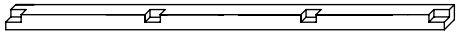
□内は梱包番号　NDH-10

部材明細表

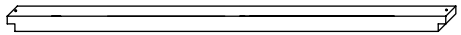
作業の前に下記の部材が全て揃っている事を確認して下さい。

1. 土台枠　前後用（L=1,740）×2　13-1

2. 土台枠　サイド用（L=1,800）×2　13-1



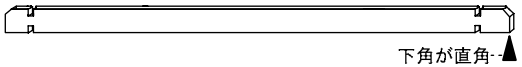
3. 土台枠　中間用（L=1,740）　×2　13-1



4. 壁板最下部・前（L=2,000）　×1　13-1

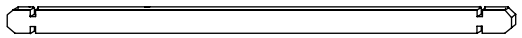
5. 壁板最下部・後（L=2,000）　×1　13-1

6. 壁板最下部・サイド（L=2,000）×2　13-1



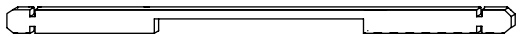
I．通しボルト ×4　13-1

7. 壁板標準（L=2,000）　×27　13-2

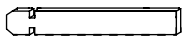


8. 壁板標準前後（L=2,000）ボルト穴あり ×21　13-3

9. 壁板ドア上部（L=2000）　×1　13-3

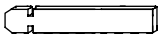


10. 壁板（短）窓両サイド（L=675）



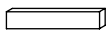
×14　13-4

11. 壁板（短）ドア両サイド（L=585）



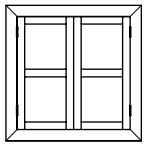
×36　13-4

H．当て木（L=220）　×1



J．台枠くぼみ用埋め木　×6　13-1

12. 窓 ×1

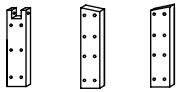


13-4

14. ドア枠タテ　×1　13-5

K．錠セット ×1　13-13

L．補強部材セット①



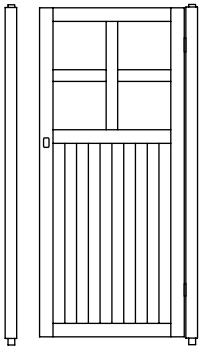
13-13

×2　×2　×2

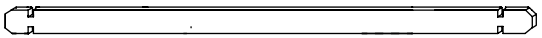
13. ドア枠、上　13-5

×1

15. ドア ×1　13-5



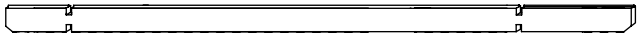
16. 壁板（長）サイド用（L=2100）　×2



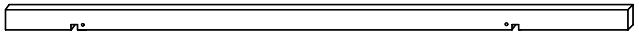
13-6

17. 壁板（中長）（L=2200）×2　13-6

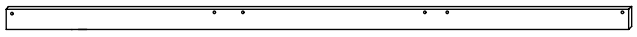
18. 壁板（最長）（L=2440）×2　13-6



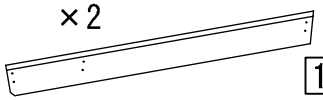
19. 棟木（L=2,440）×1　13-6



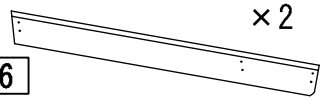
20. 軒先板（L=2,440）×2　13-6



21. 破風板　左（L=1,240）　×2

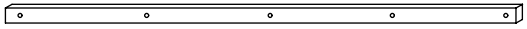


22. 破風板　右（L=1,240）　×2



13-6

23. 壁固定棒（L=1,890）×4　13-6



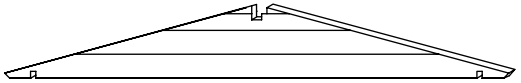
24. 巾木Ａ長（L=1,740）　×1　13-6

25. 巾木Ｂ準長（L=1,700）×2　13-6

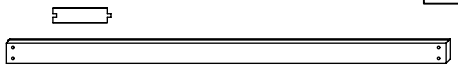
26. 巾木Ｃ短（L=520）

×2　13-6

27. 山形パネル（L=1,970）　×2　13-7

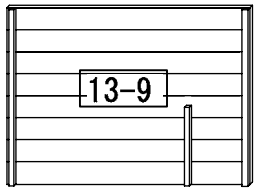


28. 床板Ａ　標準（L=1,745）　×23　13-8

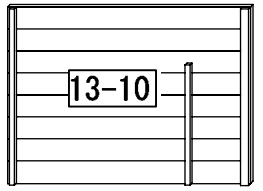


29. 床板Ｂ　エンド（L=1,745）　×1　13-8

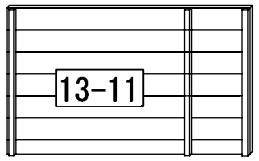
30. 屋根パネル（前）×２



32. 屋根パネル（後）×２



31. 屋根パネル（中）×２



33. 防水シート(小)　13-11

1205×150　×4

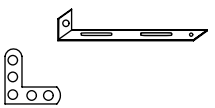
34. 防水シート（大）13-12

2440×310　×1

13-13

M．補強部材セット②（L=825）

G．Ｌ字金具（アンカー）



N．ドア枠補強Ｌ字金具　×2

A．木ねじ大（50㎜）×50

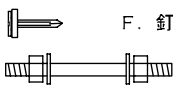
B．木ねじ中（45㎜）×100

C．木ねじ小（40㎜）×285

D．木ねじ極小（20㎜）×10

E．ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄｾｯﾄ（55㎜）×4

F．釘　×94



E．ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄｾｯﾄ（110㎜）×2

梱包明細内容

NDH－10

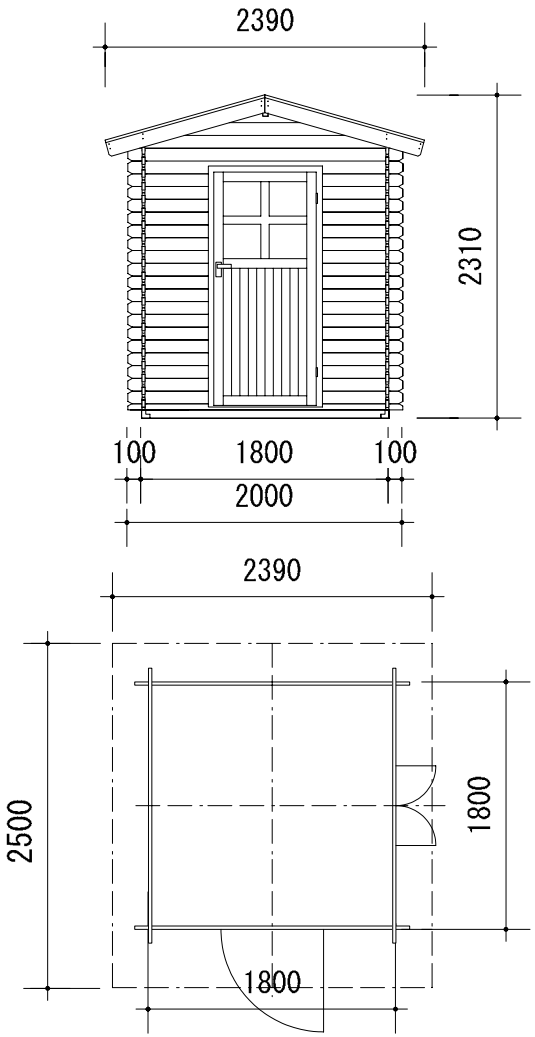
梱包番号	部品番号	名　　称	サイズ	数量
13-1	1	土台枠前後用	1740×60×60	2
	2	土台枠サイド用	1800×60×60	2
	3	土台枠中間用	1740×60×60	2
	4	壁板最下部、前	2000×50×24	1
	5	壁板最下部、後	2000×50×24	1
	6	壁板最下部、サイド	2000×100×24	2
	I	通しボルト		4
	J	台枠くぼみ用埋め木		6
13-2A	7	壁板標準	2000×100×24	15
13-2B	7	壁板標準	2000×100×24	12
13-3A	8	壁板標準前後（ﾎﾞﾙﾄ穴あり）	2000×100×24	11
13-3B	8	壁板標準前後（ボルト穴あり）	2000×100×24	10
13-3B	9	壁板ドア上部	2000×100×24	1
13-4	10	壁板（短）窓両サイド	675×100×24	14
	11	壁板（短）ドアサイド	585×100×24	36
	12	窓	700×700×48	1
13-5	13	ドア枠、上	870×70×50	1
	14	ドア枠、タテ	1720×70×50	1
	15	ドア	1710×745×50	1
13-6	16	壁板（長）サイド用	2100×100×24	2
	17	壁板（中長）	2200×100×24	2
	18	壁板（最長）	2440×100×24	2
	19	棟木	2440×90×45	1
	20	軒先板	2440×90×20	2
	21	破風板　左	1240×132×40	2
	22	破風板　右	1240×132×40	2
	23	壁固定棒	1890×60×20	4
	24	巾木A(長)	1740×20×20	1
	25	巾木B(準長)	1700×20×20	2
	26	巾木C(短)	520×20×20	2
	M	補強部材セット②	825×30×25	4

梱包番号	部品番号	名　　称	サイズ	数量
13-7	27	山形パネル	1970×285×27	2
13-8	28	床板A　標準	1745×80×18	23
	29	床板B　エンド	1745×48×18	1
13-9	30	屋根パネル（前）	1205×860×55	2
13-10	31	屋根パネル（中）	1205×720×55	2
13-11	32	屋根パネル（後）	1205×870×55	2
	33	防水シート（小）	1205×150	4
13-12	34	防水シート（大）	2440×310	1
13-13	A	木ネジ大（50mm）		50
	B	木ネジ中（45mm）		100
	C	木ネジ小（40mm）		285
	D	木ネジ極小（20mm）		10
	E	ボルト、ナットセット	55㎜×4　110㎜×2	6
	F	屋根釘		94
	G	L字金具（アンカープレート）		4
	H	当て木	220×40×20	1
	K	錠セット		1
	L	補強部材セット①		6
	N	ドア枠補強L字金具		2
		補修液		1

※13-1から開梱して下さい。

注意：梱包数は全部で15梱包です。

フロアープラン



＊フロアー面積　：1800×1800mm
＊総面積　：2390×2500mm
＊最高地上高　：2310mm　基礎高別
＊ドア開口　：747×1700mm
＊窓開口　：292×584mm（2枚）

※　窓位置は左右どちらでも可能です。

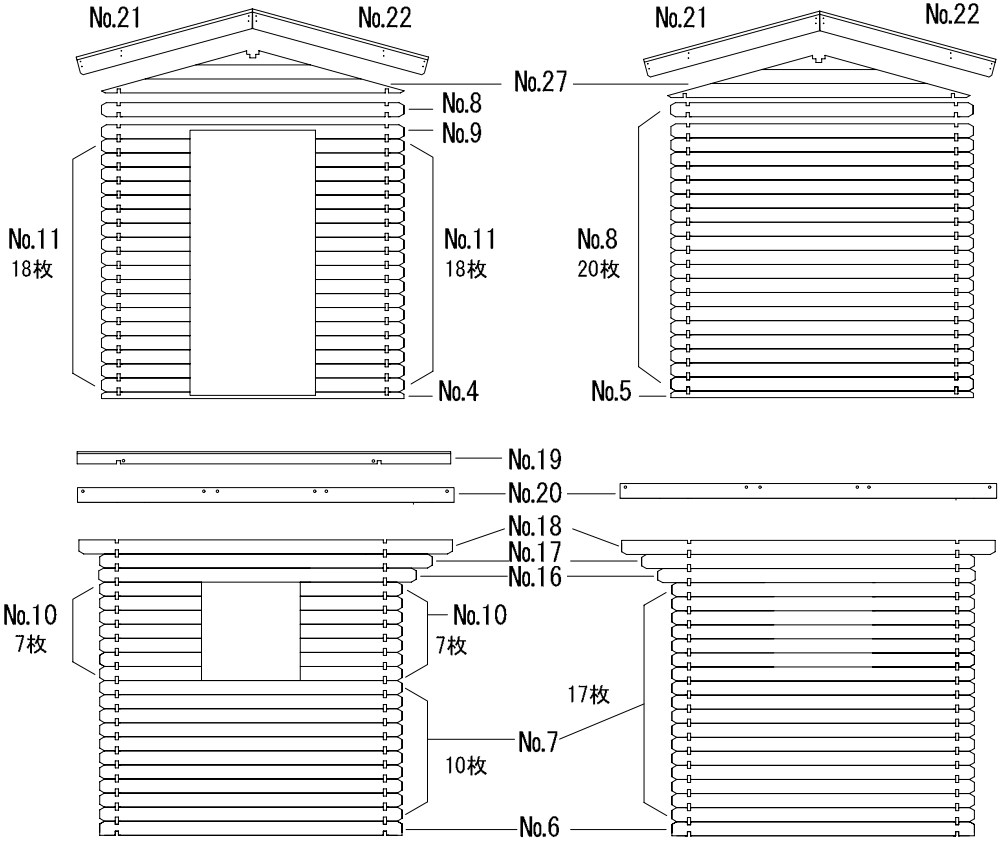
施工を始める前に

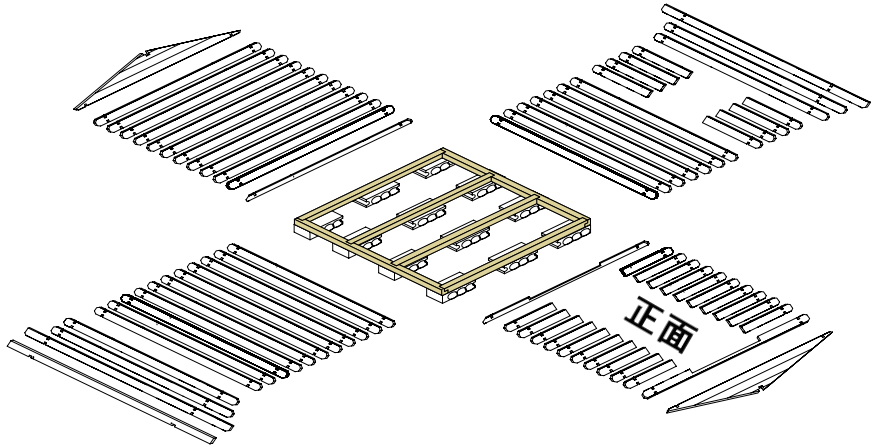
施工を簡単に行うために、一旦、各部材を設置場所の周囲に分類をしながら区分することをお勧めします。
各部材を分類していくことで、役割・入り数の確認ができます。（右図参照）

＊組み立てに必要な道具

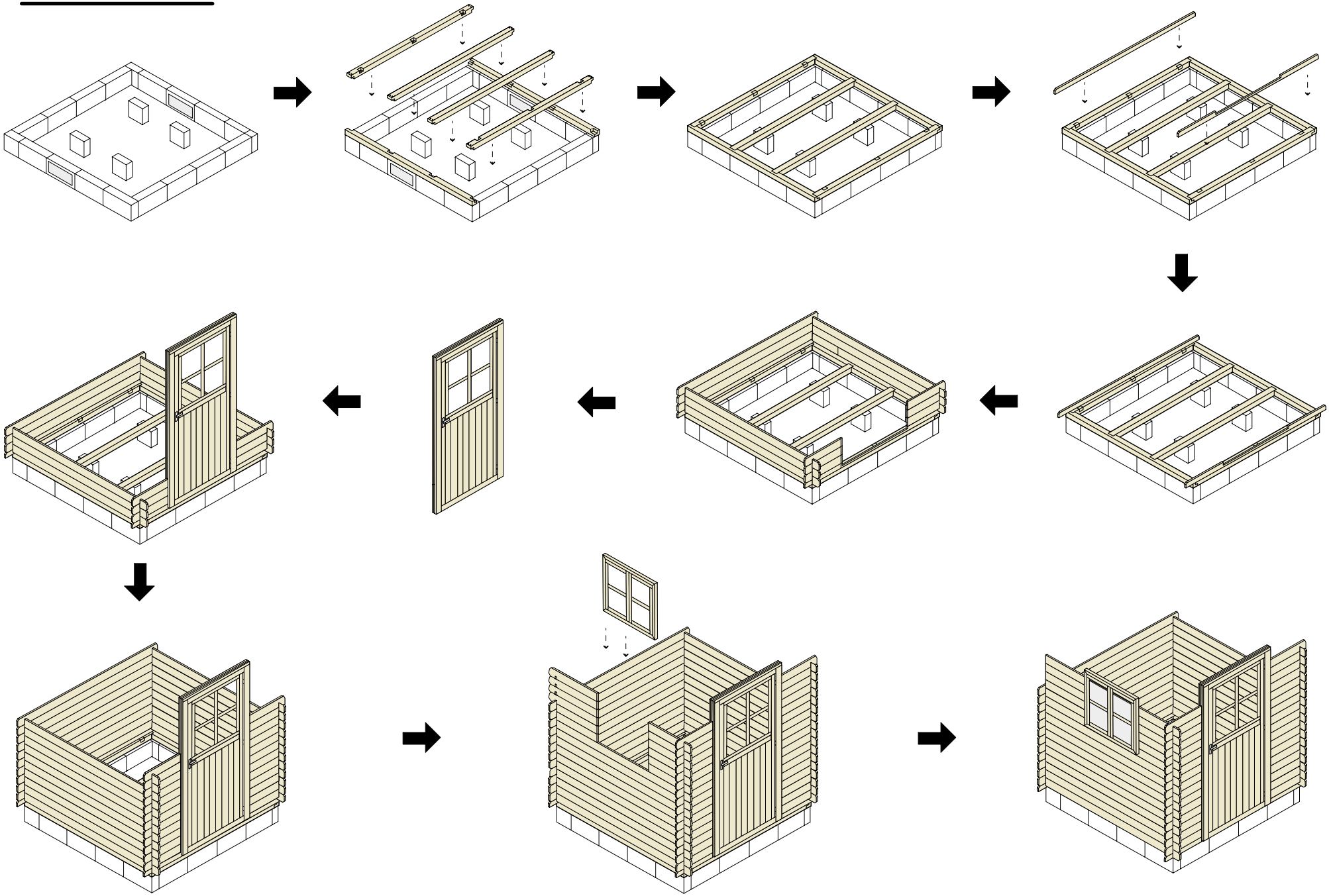
水平器・充電ドライバー・金づち・木槌・脚立・ドライバー等、その他高率に作業できるような道具をご準備ください。

全体組立図



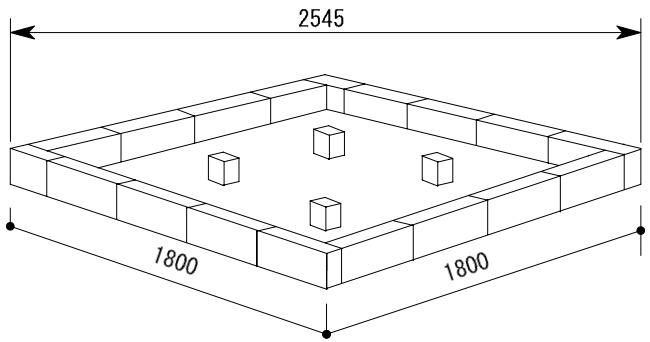


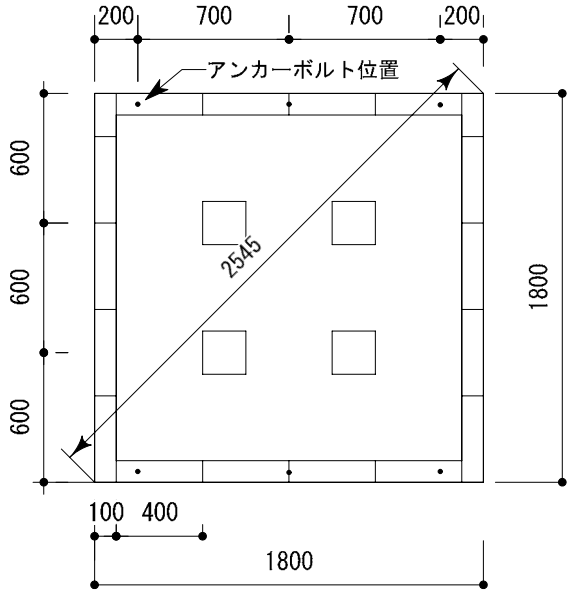
組立の流れ



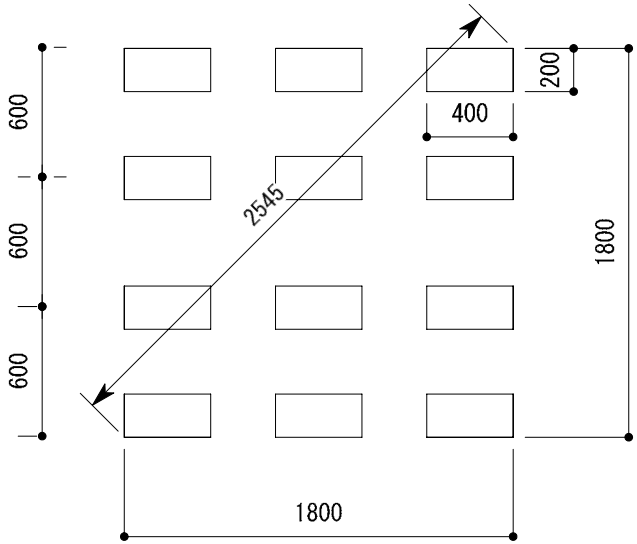
※水平・対角を必ず合わせてください。

◎ブロック基礎工事

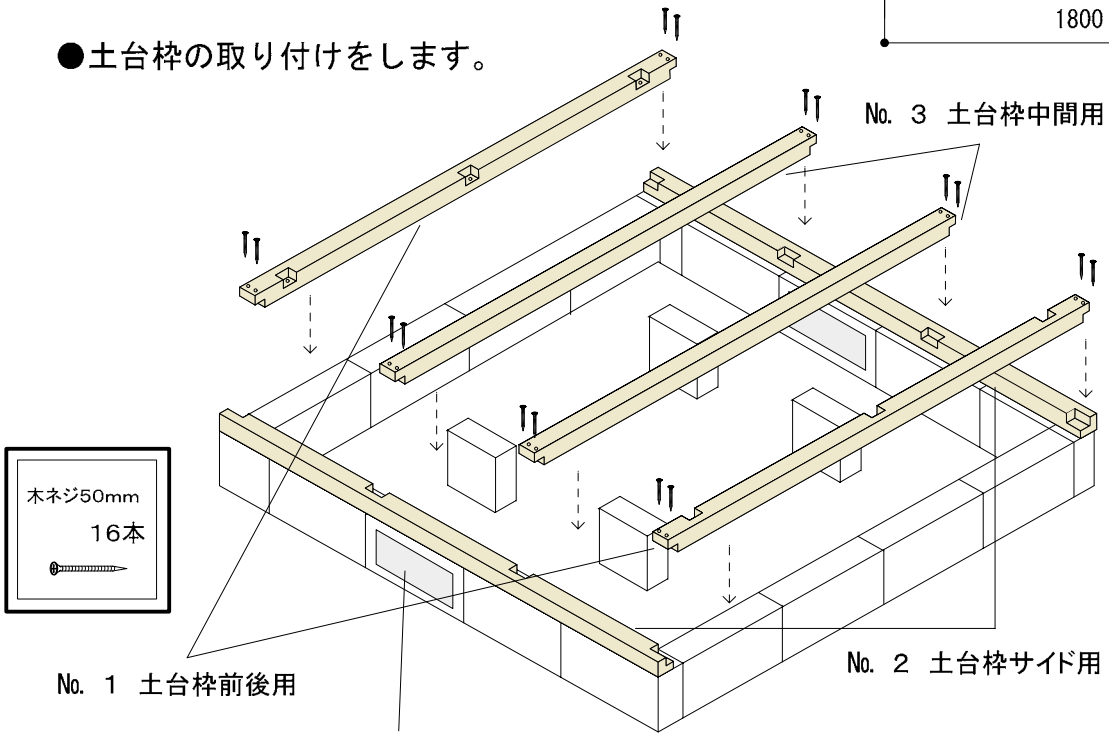




◎ブロック置き基礎の場合(標準工事例)

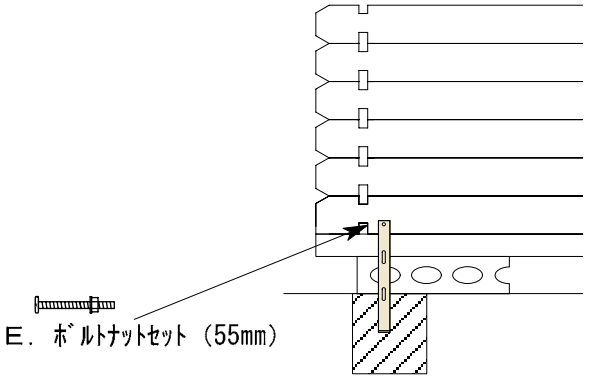


●土台枠の取り付けをします。



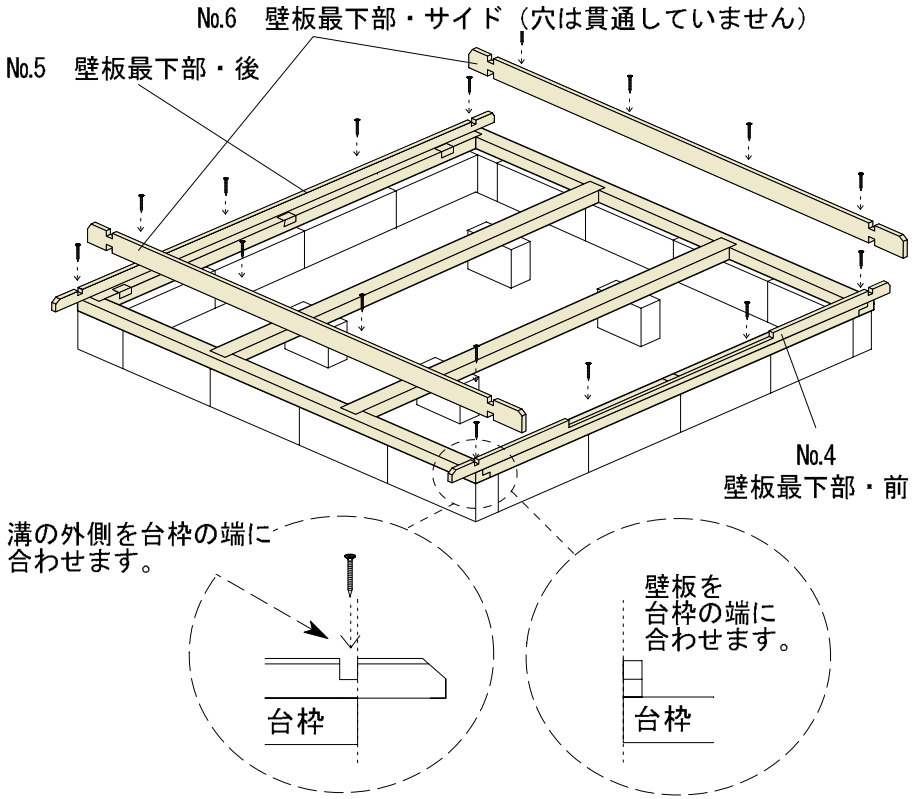
アンカー工事

(アンカープレートの場合)



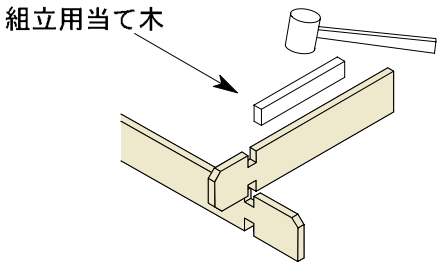
壁組立工事Ⅰ

●最初に最下部の（№4・5）台枠の外端に合わせて、
木ネジで取り付けます。



●№6の壁板（最下部サイド用）をはめ込んだあと、４ページ目の
全体組立図を参考にして壁板をはめ込んでいきます。

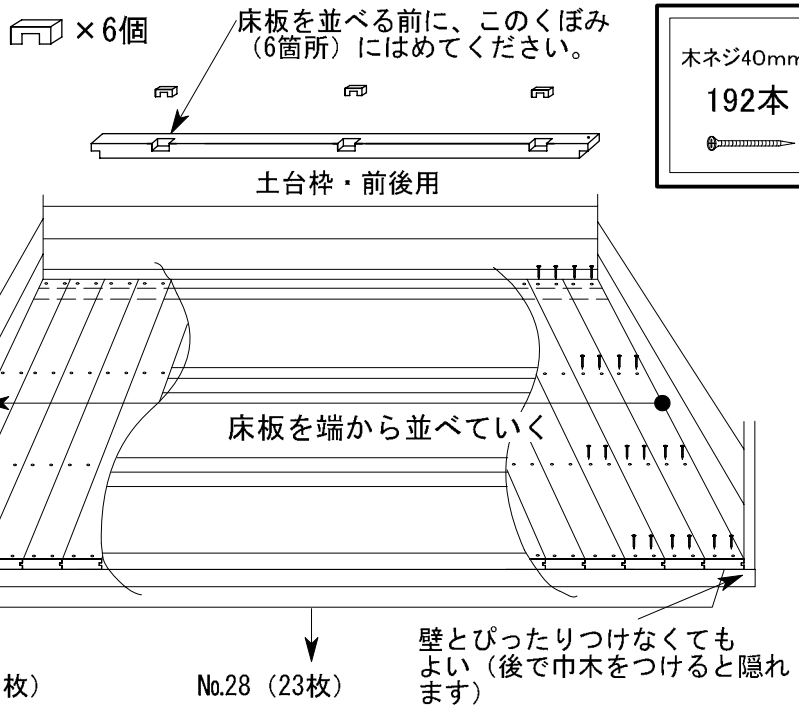
※壁板はめ込み要領



壁板の上から当て木を当てて
木槌で叩き、はめ込んで下さい。

木ネジ50mm
16本

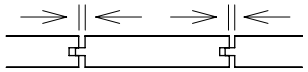
●壁板を３段くらい積み上げたところで、
床板を取り付けます。



木ネジ40mm
192本

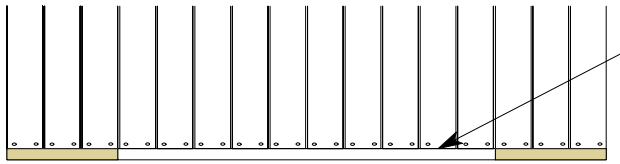
①床板を端から並べていきます。
このときは木ネジの固定は行いません。（最後に固定）

②床板はぴったり詰めないで、間を少し（約１mm程度）あける。



③最後に木ネジの固定を行います。

※湿気の多い気候の時などに、板が水分を含んで膨張する
ことがあります。
隙間をあけておくのは、膨張した板がせり上がるのを
防ぐためです。

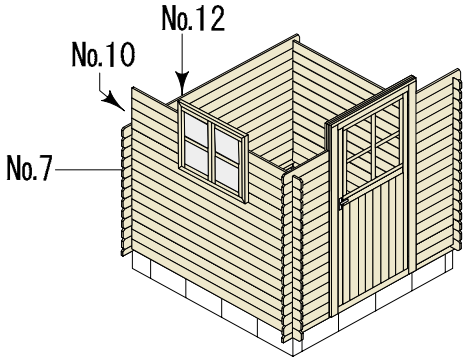


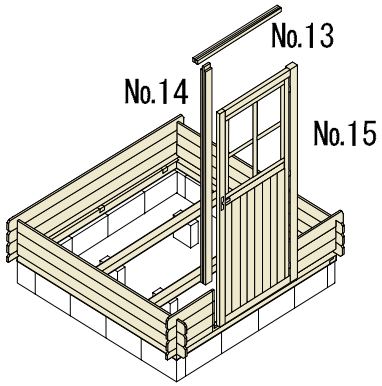
入口は巾木がないため、
見栄えをよくするために、
左図のように前側は床板を
端にぴったり寄せて取り付
けて下さい。

正面入口

壁組立工事Ⅱ

順番に壁を組立てて行き、正面側を５段組んだ時点でドアを上から組み込んで下さい。
ドア上部の両角を軽く叩くことで、枠がしっかり直角にはまっているかが確認できます。



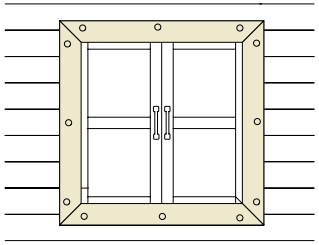


※No.15（扉）を入れてから
No.14を差し込みます。

ドアを組み込み、側面の壁が11段まで組み上がると小窓の取付位置となります。
ドアと同じ要領で、小窓を上から組み込んで下さい。

小窓の固定

屋内から下図の12ケ所を木ネジで固定します。



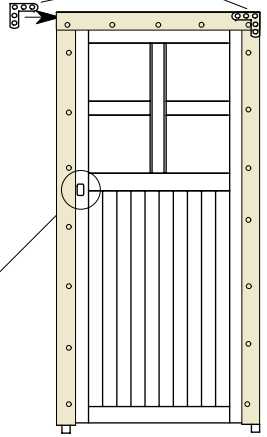
木ネジ20mm
10本
2枚

木ネジ40mm
19本

木ネジ40mm
12本

ドア枠の固定

屋内から下図の19ケ所を木ネジで固定します。
No.N （Ｉ字金具）

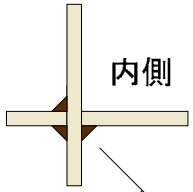


錠セットの取付は別紙参照

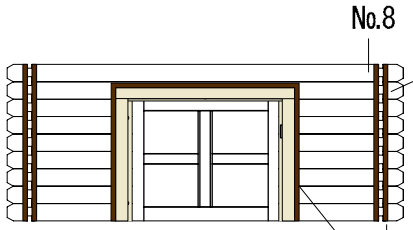
壁組立工事Ⅲ

*壁組立の仕上げ（壁上部）

壁パネル上から図



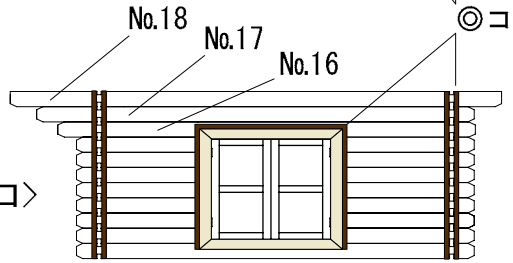
コーキング３面



〈ドア〉

ドア上枠の上は
No.9、No.8の順で
乗せていきます。

◎コーキング使用
（黒い部分）

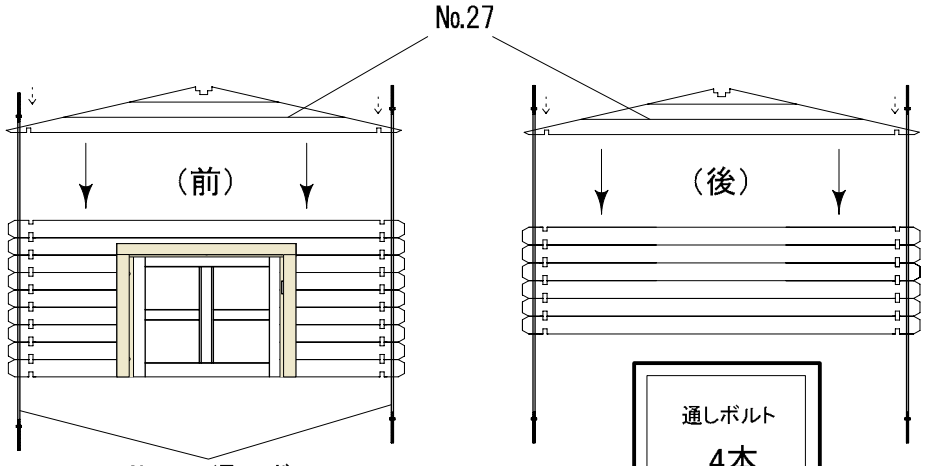


〈入口〉

〈窓〉

窓の上からは
No.16、No.17、No.18の
順で乗せていきます。

全ての壁を取り付けたあと、前面と後面に山形パネルを取り付けます。
*その後に，通しボルトで完全に止めます。

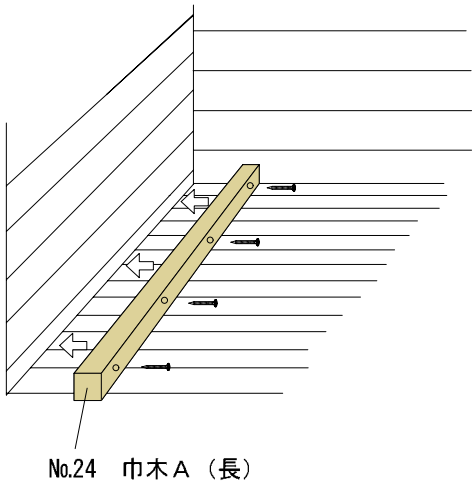


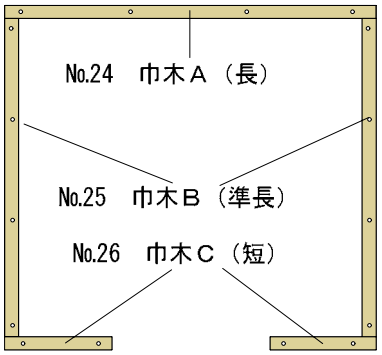
No.Ⅰ　通しボルト

通しボルト
4本

内面工事

床板を張った後、四辺に巾木をそれぞれ取り付けます。

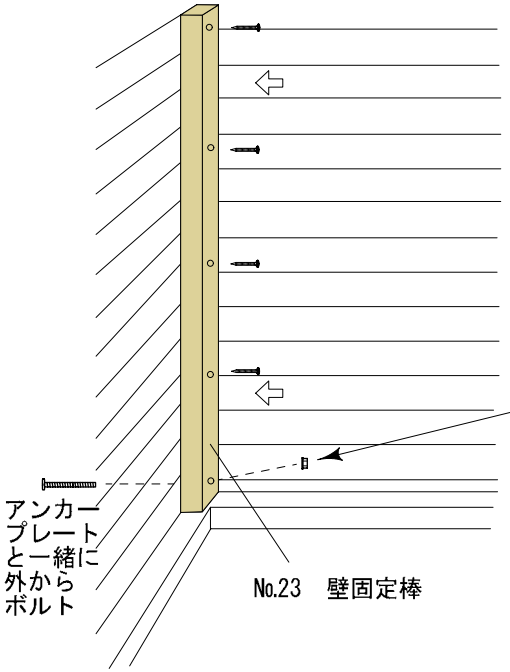




正面

木ネジ40mm
16本

壁固定棒を取り付けます。

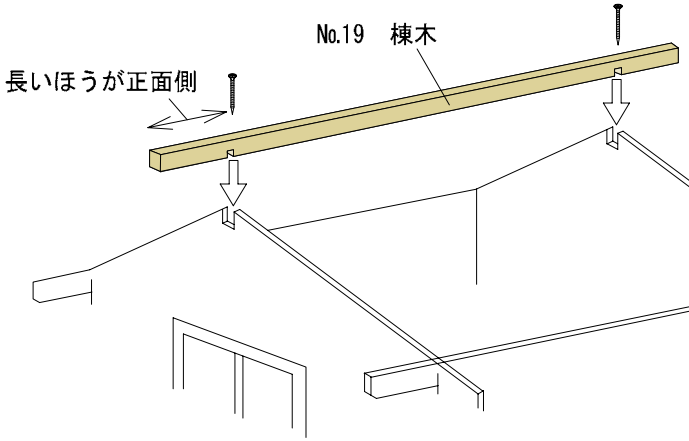


壁固定棒を四隅にそれぞれ木ネジ小40mmで取り付けます。

木ネジ40mm
16本
4本

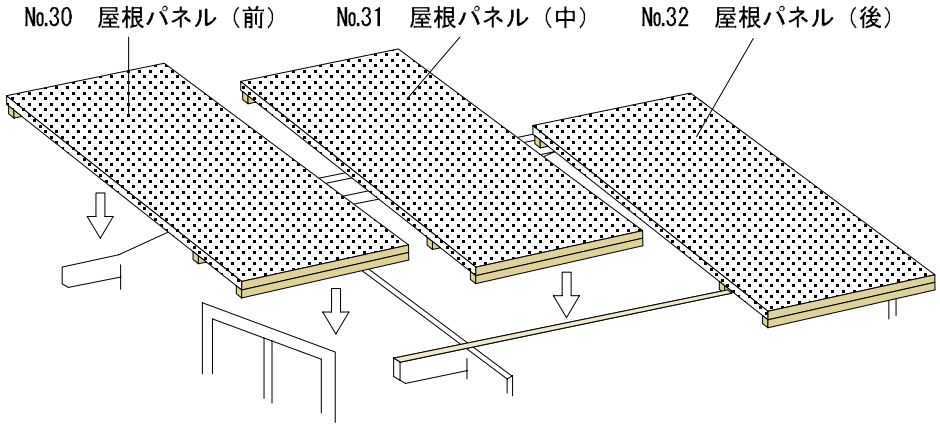
棟木と屋根パネル工事

山形パネルを取り付けた後に、棟木を取り付けます。



木ネジ50mm
2本

屋根パネルを取り付けます。



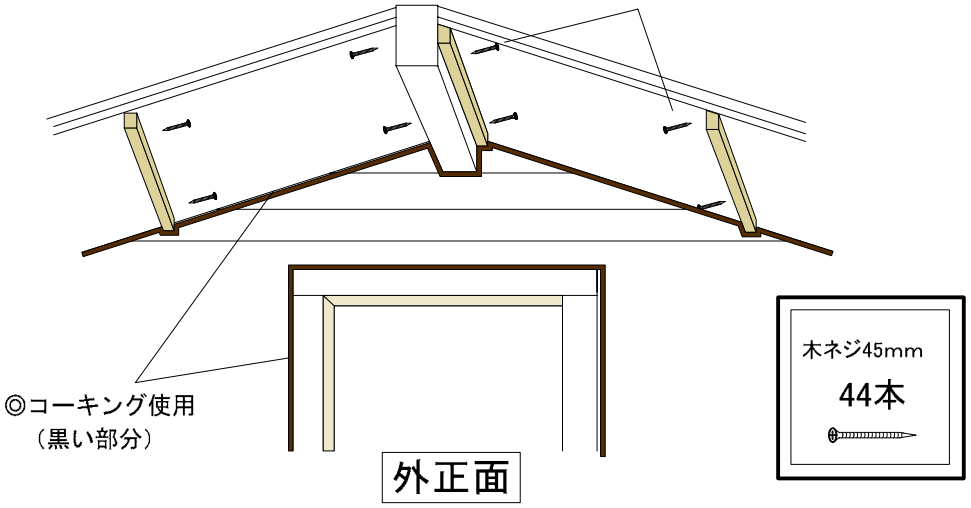
屋根パネルを入口側より取り付けます。

木ネジの固定は屋内から取り付けます。
次ページ参照

屋根パネル工事

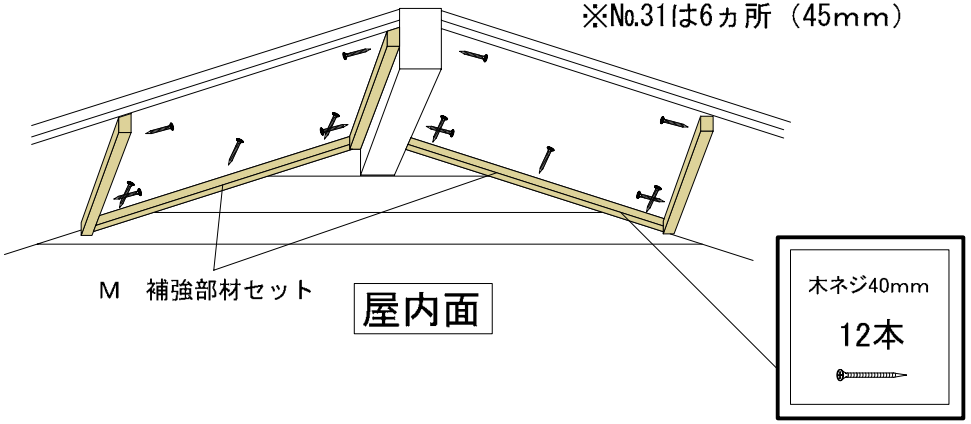
1. 屋根パネルを取り付けた後に、木ネジで固定します。

※前・後共、木ネジ２ケ所づつ



2. 屋内側も同様に木ネジで固定します。

※№30.32は４ヵ所（45mm）
※№31は6ヵ所（45mm）

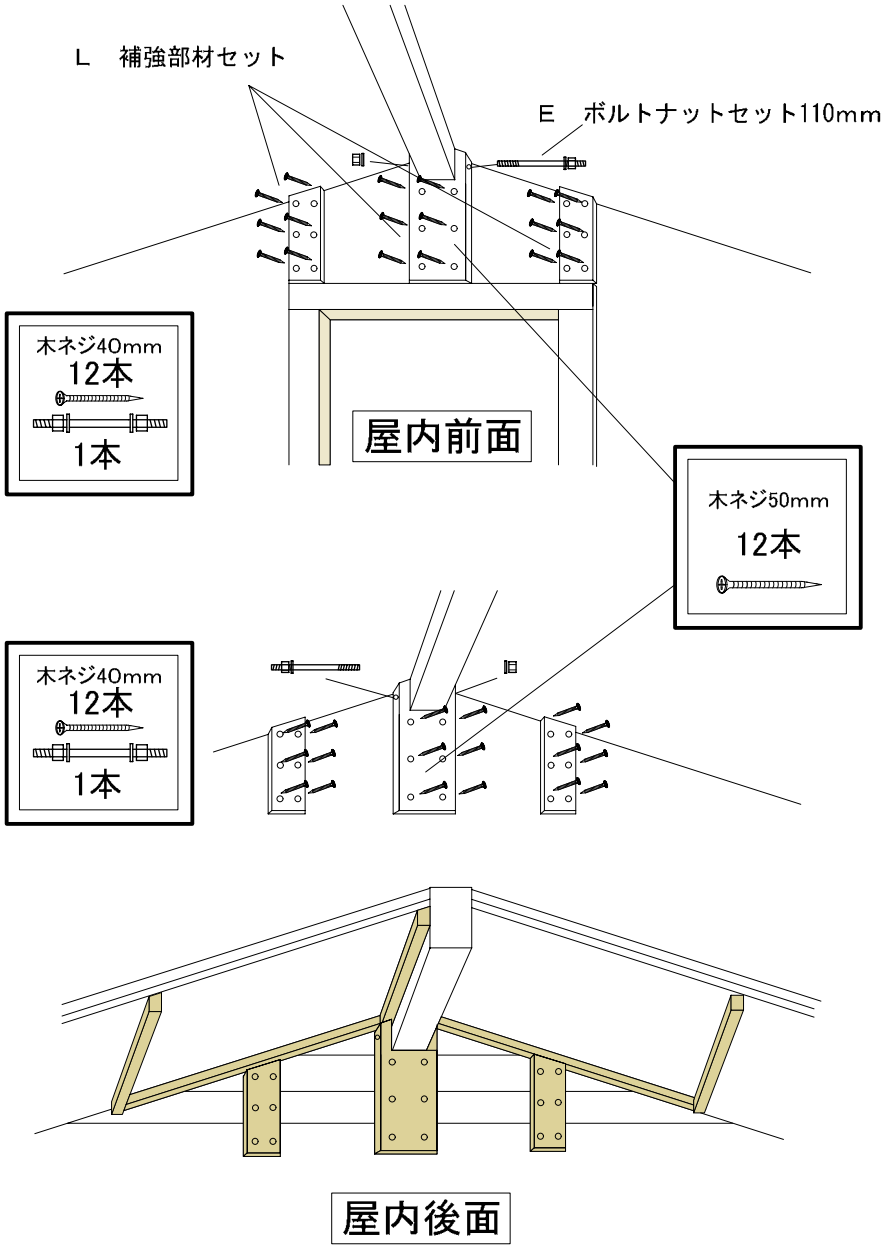


3. 補強部材セット取り付けます。（屋内前・後）

※木ネジ３ケ所づつ（40mm）

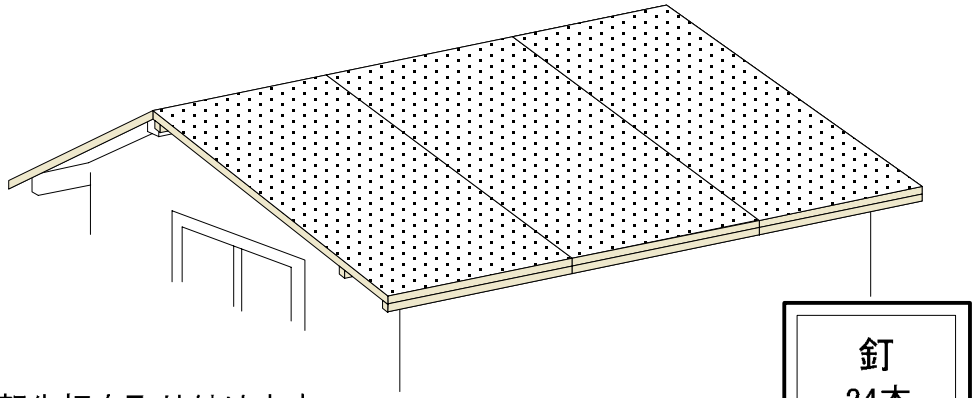
室内補強工事

1. 屋内側に補強部材セットを取り付けます。



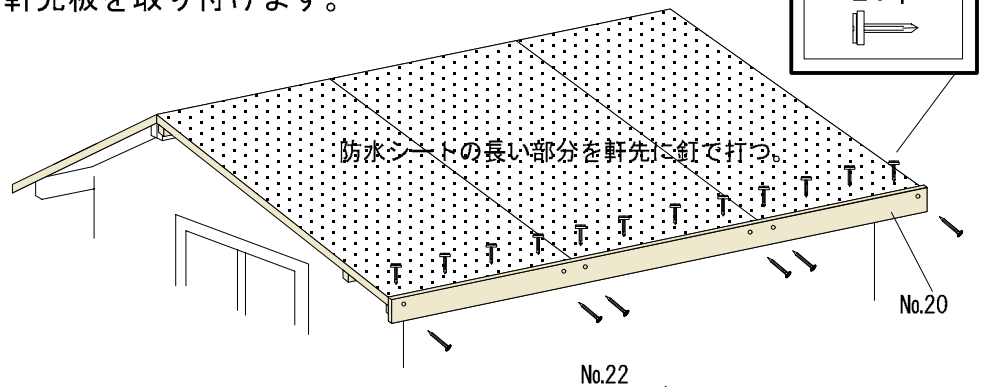
屋根工事

1. 屋根パネルを取り付けた後に隙間等を確認しレベル調整して下さい。

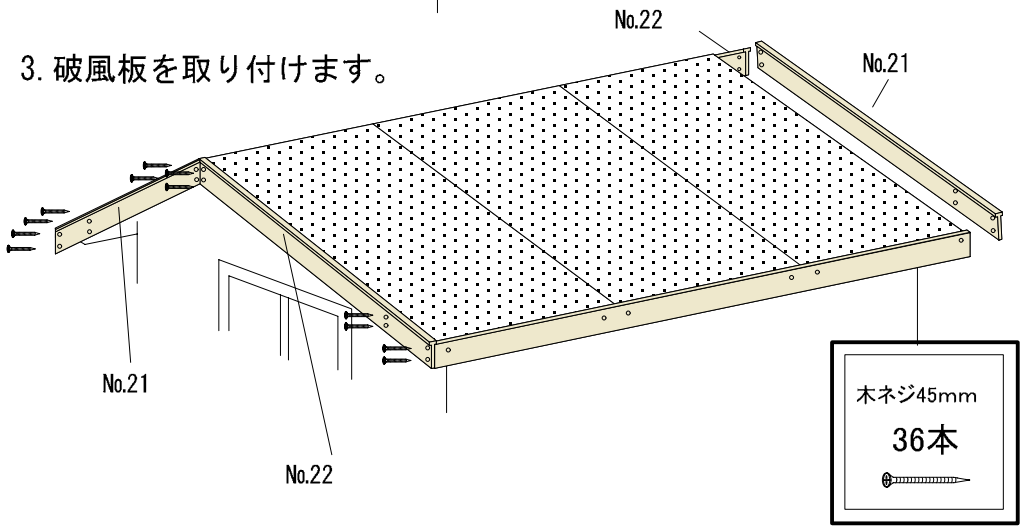


釘
24本

2. 軒先板を取り付けます。



3. 破風板を取り付けます。

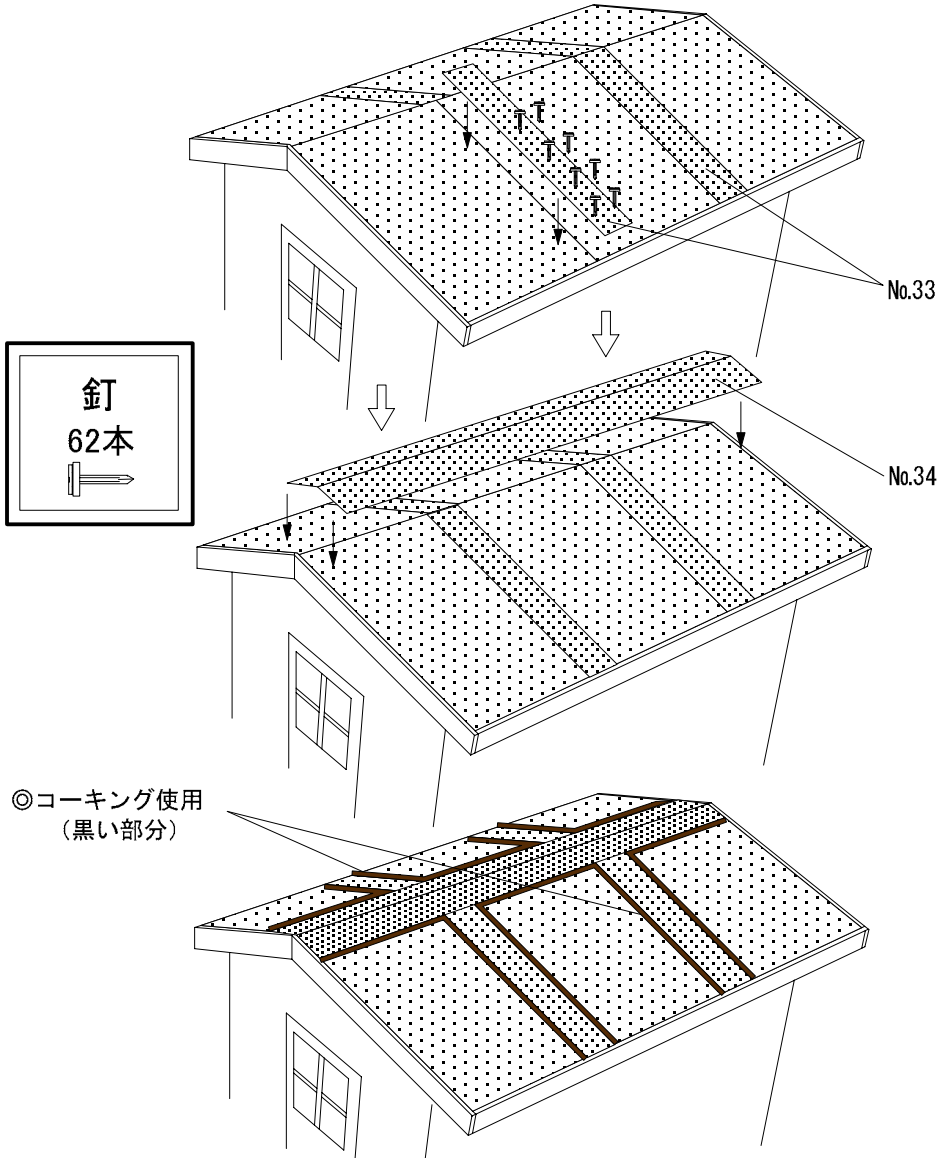


木ネジ45mm
36本

防水工事

1. 屋根パネルのジョイント部に防水シート小を釘を打って貼る。
（1枚に8本の釘を使用、棟木側は防水シート大と一緒に貼る為に空けておく）

釘
62本



2. 最後に棟木部分に防水シート大を貼り完成です。

（片側に15本の釘を使用し、防水シート小と一緒に打ち付ける）

姉妹品
ガゼボ